

※美術画廊・ギャラリーNEXTは原則毎週火曜日を準備日とさせていただきます。
店舗の営業日・営業時間等につきましては高島屋ホームページにて最新情報をご確認ください。
※作品の販売に関するお問い合わせは、美術画廊係員までお願いいたします。

7月1日(水)～6日(月)

つじ とし ひこ つじ たく ま

辻 聡彦・辻 拓真 陶画展 -有田の風、磁を刻む-

線刻と色のグラデーションで国内外の情景などを陶板に描いて作陶34年の辻聡彦先生。板造りや鑄込み技法を用いた新しい磁器の表現を追求し、若手作家として注目される辻拓真先生。有田の原点である白磁と呉須に調和する陶画作品を中心に、花器や香炉、食器や小物など、独特の表現に挑戦する辻親子の作品を展開いたします。



辻 聡彦 「線刻染付陶額『マジックアワー』」
(27.5×58.5cm)

こ じま ゆう いち

小島 祐一 展 -ぼくのアトリエへようこそ-

確かなデッサン力で海外からも熱い視線を注がれている小島先生の3年ぶりの個展です。今回は会場にアトリエ…絵画の「言葉」が産み落とされている場を再現します。筆の跡、絵の具の匂い、全てが渾然一体となり、やがて来るべき意思を形作る混沌たる創造の場と、そこから生まれる作品をお楽しみください。



「嵯峨野の杉」(10号)

7月8日(水)～13日(月)

にかわ

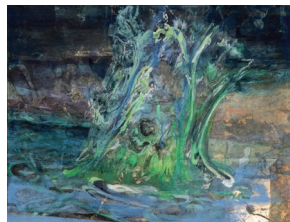
膠へのまなざし -再考、そして応答-

2010年頃に伝統的な製造技法による三千本膠の生産が終了し、後に教育機関や研究者、企業等の尽力により製品としては復刻したものの、当時多くの日本画家へ大きな衝撃を与え、作品制作にとって「膠」の重要性を見つめ直す契機となりました。本展は、内田あぐり氏(『膠を旅する』監修/武蔵野美術大学名誉教授)を監修者として迎え、日本画に限らず、油画、写真を含めさまざまな技法、場所、そして世代の作家による膠を使用した作品を展覧いたします。また、膠の原材料としての姿や現地調査の様子を資料を交えて展示いたします。



〈出品作家〉

- | | | | |
|--------|-------|--------|------------|
| 赤塚 祐二 | 浅井 裕介 | 荒井 経 | 石崎 誠和 |
| 内田 あぐり | 内田 亜里 | 大嶋 直哉 | 岡路 貴理 |
| 岡村 桂三郎 | 金子 朋樹 | 川崎 鈴彦 | 川嶋 涉 |
| 菊池 玲生 | 北田 克己 | 喜屋武 千恵 | 熊澤 未来子 |
| 小林 孝亘 | 小俣 花名 | 斉藤 典彦 | 椎名 純 |
| 重野 克明 | 杉戸 洋 | 曾谷 朝絵 | 平良 優季 |
| 滝沢 具幸 | 千坂 尚義 | 永沢 碧衣 | 仁添 まりな |
| 濱田 千晴 | 平向 功一 | 町田 久美 | 松岡 学 |
| 松平 莉奈 | 丸川 直人 | 丸山 直文 | 三沢 厚彦 |
| 山部 杏奈 | | | (敬称略・50音順) |



内田 あぐり「みずけむり」(41×53cm)

7月15日(水)～20日(月・祝)

とお か かい

第48回 十果会

1979年に独立美術協会の中核を担う有志が集い発足した十果会は、「美とは何か」という答えの無い問いに対して、揺るぎない信念と自由な創造精神をもって、絵画という表現に挑み続けておられます。11名の先生方による大胆で力強い意欲作の数々を、ぜひご高覧ください。

〈出品作家〉

- | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|
| 相田 幸男 | 井澤 幸三 | 今井 信吾 | 大津 英敏 | 奥谷 太一 |
| 奥谷 博 | 木津 文哉 | 齋藤 将 | 瀬川 富紀男 | 瀬島 匠 |
| 平岡 靖弘 | | | | |

(敬称略・50音順)

7月22日(水)～27日(月)

木彫展 -未来へー引き継がれる系譜

木と対峙する彫師を生かす作家、一木造りにこだわる作家、木の性質との融和を目指す作家、様々な木彫作家の個性をお楽しみいただけるグループ展です。引き継がれてきた「技」と現代感覚をとりいれ進化する木彫作品をお楽しみください。

- 〈出品作家〉 秋山 隆 榎戸 真由門 遠藤 幹彦 及川 茂 神崎 泰志 木村 俊也
嶋崎 達哉 神保 琢磨 辻本 博紀 野桑 敏哉 平野 千里 丸山 達也
向吉 悠睦 湯川 隆 ほか (敬称略)



秋山 隆「遊」
(27×10.5×高さ17.5cm)

すず き げん た

鈴木 玄太 グラス展

夏の光をたたえる鈴木玄太先生のグラスを中心とした展覧会です。美しい自然に囲まれた富山、福光のスタジオで、ひとつひとつ丁寧に作られています。今展では新作の水紋和グラス鉢をはじめ、花器や酒器、うつわを中心に、涼やかな透明感にあふれる作品が並びます。心躍るグラスの世界を、どうぞお楽しみください。



「水紋和グラス鉢(5客)」
(各13×11.5×高さ4.5cm)

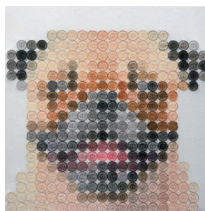
※美術画廊・ギャラリーNEXTは原則毎週火曜日を準備日とさせていただきます。
店舗の営業日・営業時間等につきましては高島屋ホームページにて最新情報をご確認ください。
※作品の販売に関するお問い合わせは、美術画廊係員までお願いいたします。

7月1日(水) 7月13日(月)

※7月7日(火)は開催いたしません。

やま もと ゆう きょう

山本 雄教 展 -PET SHOP-



山本雄教先生はコインのフロッターージュによる「One coin」シリーズなど、日本画の素材や技法をルーツとしながらも、独特の表現方法による多彩なアプローチで注目を集める気鋭の作家です。今展では、「PET SHOP」と題し、動物たちの愛らしい姿をシニカルな視点も含んだ表現で発表いたします。

「302円の犬」(41.0×41.0cm)

7月15日(水) 7月27日(月)

※7月21日(火)は開催いたしません。

大阪芸術大学 × 大阪タカシマヤ



KOGEI LABORATORY II

- 呼 応 する 美 蕾 -



田嶋 悦子「花々」(30×27×高さ12cm)

素材への探求、ジャンルの融合とともに進化し続ける「KOGEI」今年も大阪芸術大学とタッグを組み、グループ展を開催いたします。伝統的な技と日々の移ろいに美を見出す日本人ならではの繊細さが、現代アートとして世界からも熱い視線を注がれています。

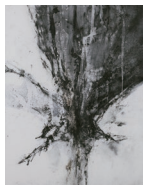
- 〈出品作家〉 (金属工芸) 水野 年彦 釜本 幸治 森 瑛
(陶芸) 田嶋 悦子 三木 陽子 中村 幹
(テキスタイル・染織) 梅崎 瞳 玉井 佐知 塩谷 清美
(ガラス工芸) 小橋 昌代 大西 未沙子 田仲 伸也 (敬称略)

7月29日(水) 8月10日(月)

※8月4日(火)は開催いたしません。

たけ い ち こ

武井 地子展 glimmer



「in white #387」(50号)

淡い光を纏うつろいゆく箔の景色 去来する白景に仄かな光が交錯する或いは鮮明に 或いは不確かなとは作家のことば。墨で描かれた線は時に激しく、時に儚げに…波がくだけるような音をたてたとと思えば、抜き足のような気配を感じさせてみたりもする。白い世界にうごめく墨の色…モノクロなクールさに朗らかな麻紙の質感と鈍い箔の光が、絵の奥へ奥へと記憶の彼方に引き込んでいくような感覚をお楽しみください。

作家によるギャラリーツアー & レセプション

■7月29日(水)午後4時から